



発行・京都障害者スポーツ振興会
題字 芝田 徳造

スポーツのつどいに参加して

府立体育館・水泳のつどい

参加者の親の方から

水泳のつどいに参加して

城陽市 濱村香織

城陽市では、障がい者のためのレクリエーション教室としてこの水泳のつどいに参加しています。年に一度、6月の第一日曜日に参加するようになり、二十年以上経ちました。ボランティアとして、城陽作業所の先生やみんな仲間教室の先生方、そしてつどいのリーダーの方々にお世話になり、子供たちは楽しいひとときを過ごしています。

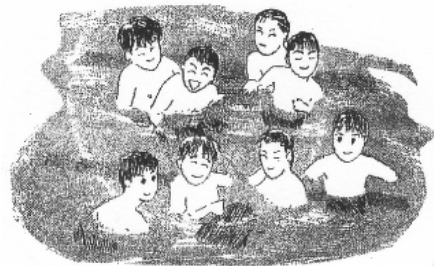
子供たちの中には重度の障がいがあり、手や足を思うように動かさない子や、自分の思いを言葉でうまく伝えられない子もい

ますがプールの中では皆がとても素敵な笑顔を見せてくれています。子供たちの満面の笑顔を見ている親の顔にもいつしか幸せな笑みがこぼれていきます。このプールにはそんな不思議な何かがあるのでしょうか。

日々、子供と悪戦苦闘している中でのこのつどいは親子にとって少し気持ちが穏やかになれる一日でしょう。また、何度も参加している子供は、リーダーさん達とも顔見知りになり、自分達から声をかけたり、リーダーの方から声を掛けていただいたりして、緊張した様子も見せず、我先にと更衣室へと足を運びます。そんなリーダーさん達の温かい笑顔や声かけに支えられみんなどはこのプールが大好きで

す。プールでのゲームや玉入れなどの企画も考えてくださり、泳ぎが苦手な子供も退屈することなく楽しんでいきます。毎年、大勢で参加させて頂くことにも配慮してくださり感謝しております。

私は、障がいのある子供を持つ親として、またひとりのボランティアとして、これからこの水泳のつどいや、障がい者が参加できるいろいろなプログラムで皆と一緒に楽しいひとときを過ごしてゆけたら幸いに思っています。



スポーツのつどいに

参加して

右京区 Hさん

いつの頃から参加したのかな、と思い返すと息子が

幼稚園と通園施設に通い毎日を忙しくしていた頃に、お友達にお母さんから教えられてもらったように思います。自転車の後に乗せて行き、トランポリンを楽しみに毎月通いました。

成長とともに自分の思いが出だした頃から大声でさわぎ順番を無視してトランポリンに跳び乗ったりしたこと何度となくありました。行くことさえいやがることもありました。体育館のリニューアルが良いお休みとなつたようで、出発前に「体育館がなおつたからトランポリンを跳びに行こう」と以前に撮った1枚の写真を手に向かいました。気持ちの良い、リニユアル1回目となり、久しぶりに大きなトランポリンを笑顔で跳んでいました。

その息子も6年生となりました。いつまで一緒に行き、トランポリンを跳んでくれるかはわかりませんが、毎月の予定にいられておきたいです。



行事予定	7月	15(月・祝)	宮津障害者スポーツのつどい	宮津市民体育館	来月の「つどい」は 8 / 11 第2日曜日
		21(日)	第33回全京都障害者総合スポーツ大会 卓球大会	京都市障害者スポーツセンター	
		28(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽	
	8月	4(日)	乙訓障害者スポーツのつどい	大山崎町体育館	
京都障害者スポーツ振興会ホームページ http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/				TEL/FAX075-712-7010	
(2013年6月23日に一部更新)					

全国障害児体育研究連絡協議会 春の学習会 芝田徳造顧問の講演要旨

「私たちがなぜ障害児者にスポーツ(身体運動)を保障しようと考えたか」からへ2v

スポーツ(身体運動)を保障しようと考えた理由

1 重度障害者の短い寿命の問題

与謝の海養護学校(現与謝の海支援学校)で障害が重度で訪問教育を受けている人、10年間の在籍者41人中13人が在学中に亡くなった。また、身体障害者療護施設は全国に約200施設あり、17000名が入所されているが、ある施設の平均寿命が46歳である。

日本人の平均寿命は世界でも1・2を争う長寿社会であるが、重度障害の人の寿命はあまりにも短い。重度障害を持つ人はもともと虚弱で、身体を動かさない(動かさない)ことが理由と考えられる。「動物のからだは適度に動かせば発達する。動かさなければ退化・萎縮し寿命まで短くなる」と言われ、障害児者にとって運動は、命にもかかわる重大問題と考える。

2 スポーツ(身体活動)が

障害児者にもたらす効果

第一次大戦中のドイツ陸軍野戦病院で4人の軍医が戦傷者の治療にスポーツを取り入れた。スポーツを取り入れた効果として3つのことが言われている。1948年ロンドンオリンピックの開会式当日パラリンピックの父と呼ばれているL・グッドマン医師が16名の傷病兵にアーチェリーの試合を行った。1952年ストックマンデビル競技会として精髄損傷者の車椅子大会と発展し、1960年ローマオリンピック後に障害者の大会として開催された。

身体的効果 健康の維持増進 寿命の延長

リハビリ的效果 障害の克服 二次的障害の防止。

精神的効果 生きる自信と勇氣、精神的解放、知的発達。大脳生理学的にもスポーツは知的発達を促進させると言われている。

スポーツが(身体運動)が障害児者にもたらす効果は極めて大きい。

3 障害の有無に関係なく誰しもが人生は1回限り「スポーツの素晴らしさを(文化的価値)を、可能な限り多くの障害児者に味わってもらおう。京都の実践の基本理念は、各種つどい・スポーツキャンプ・ハロイツク水泳指導法など「スポーツの輪を広げる活動」と各種競技

会など「スポーツによる可能性の追求」の統一。

1988年第24回全国障害者スポーツ京都大会の合言葉「50年に一度の大会」大会開催で特に留意した点

より重度障害者の参加 公開競技の実施 卓球バレー・車いす駅伝

障害児者参加のマスゲームの実施 開閉会式での選手団への椅子の提供

水泳競技開始式でのシンクロ ナイズドスイミング演技

「スポーツを通して、人間らしいより豊かな人生を保障できれば」と考えた

4 障害児者が持つ残存能力(潜在可能性)には計り知れないものがある

全国障害者スポーツ大会で両上腕・片大腿切断の男性が水泳競技に出場して人間の可能性を改めて認識した。障害者スポーツの場面でよく言われる言葉に「パラリンピックの父、L・グッドマン博士の有名な言葉に「失われたものを数えるな、残されたものの最大限生かせ！」

5 スポーツに込める障害児者の「ねがい」

障害者のスポーツ権 「国連・障害者の権利宣言」(1975年第30回国連総会で満場一致採決)

第2条 「障害者はいかなる例外なしに、またいかなる状況による区別も差別もなしに」

第3条 「その障害の原因、特質及び程度のいかにかわからず、同年齢の市民と同等の基本的権利を持つ」

「国連・体育スポーツ国際憲章」(1978年国連教育科学文化機関「ユネスコ」総会で満場一致採択)

第1条1項 「体育スポーツの実践は、すべての人にとって基本的権利である」

「日本・スポーツ基本法」(2011年6月成立)2条

書籍紹介

森津常春

「サッカーが勝ち取った自由 アパレルヘイトと闘った刑務所の男たち」

チャック・コール マービン・クローズ著 2010年 白水社発行

2010年にワールドカップを開催した南アフリカですが、その20年程前までは人種差別を国際社会から厳しく批判され、サッカーをはじめオリンピックなど国際試合に参加することは出来なかった。

アパレルヘイトの時代に人種差別に反対する南アフリカの政治犯が数多く収容されていたロベン刑務所内で、サッカーを行うためFIFA(国際サッカー協会)の

ルール、理念と規則を遵守しアパレルヘイトが廃止されるまで二十数年間開催してきた。受刑者の中にはマンデラ元大統領をはじめ。判事や教育者、実業家など現在の南アフリカにとって重要な人たちがいた。スポーツはただ単に楽しむだけのものではなく、人種差別と闘い、民主主義の精神を育むことに大きな役割を果たしたことを学ばせてくれる書である。

第33回全京都障害者総合スポーツ大会申込み締切

陸上大会

7月27日(土) 参加費500円

アーチェリー大会 8月22日(木) 参加費500円

申込み・詳細は振興会まで

「つどい」を探しています

つどい173号

つどい1996年6月発行

つどい287号

つどい2005年12月発行

つどい289号

つどい2006年2月発行

つどい300号

2006年3月発行 以下のつどいをお持ちの方は編集委員まで連絡して下さい。